

業務用米向け多収品種の低コスト栽培

近年、米の需要は下がっており、需要に応じた米生産が必要です。中食・外食向けの米（業務用米）は一定の需要がありますが、低価格であることが求められ、生産者所得を確保するためにはコストをかけずに多収を達成することが重要です。そこで、業務用米向け多収品種と当担当で開発した乾田直播栽培技術、リモートセンシングによる追肥診断技術を組み合わせて、低コストな業務用米栽培体系を開発しました。これらの成果などを取りまとめ、「埼玉県水稲乾田直播栽培マニュアル」を2024年2月に公表しました。

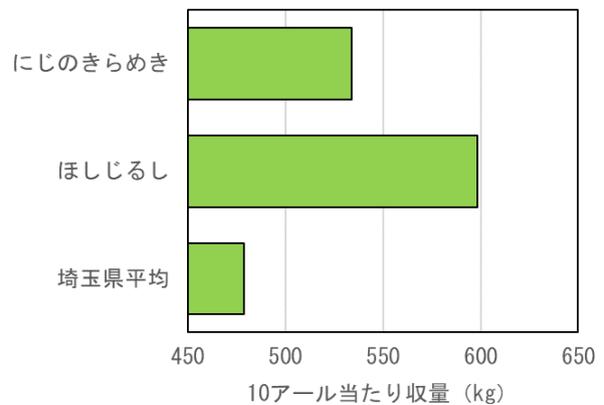


業務用米向け品種「ほしじるし」
多肥でも倒伏しにくい

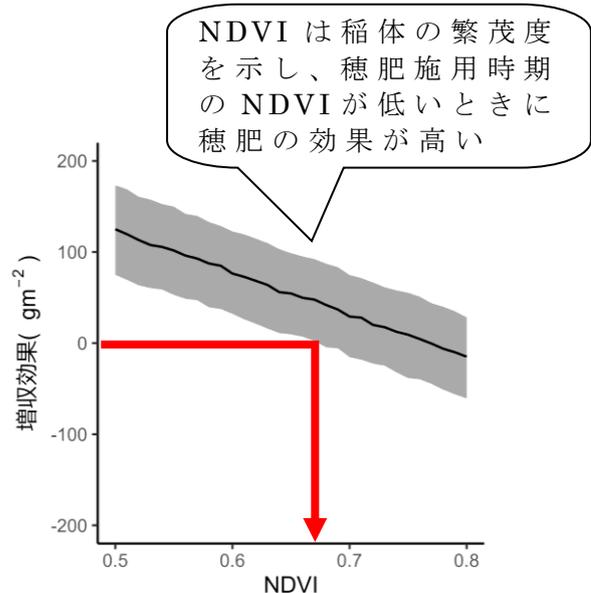


直播作業（上）とリモートセンシングに使うドローンとカメラ（下）

（水田高度利用担当



試験期間中の品種別平均収量
「ほしじるし」は埼玉県平均の約1.25倍



「ほしじるし」正規化植生指数 (NDVI) による穂肥要否判断

TEL 048-536-8321)